

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [足立区立梅島第一小学校] 担当教諭名 [永井 亜紀子] (クラブ 17名)
 交流相手国 [ロシア]
 海外学校名 [Educational Center 1471] 担当教諭名 [Anna Kostikova]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	図工クラブ	外国の友達と壁画を描いて交流を深める	6

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	お互いの国に伝わる物語
絵に込めたメッセージ	お互いの国の物語を伝え合い、自国と相手国を理解する。また、それらのことを作品を見る人に紹介する。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
異動したばかりの学校での取り組みだったので、学校全体にアートマイルプロジェクトのことを認知してもらえた。参加した児童にとって、とてもいい経験となった。	クラブの時間内での活動だったので、時間が十分にとれなかった。他教科と関連づけた方が活動が広がると思う。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> ・集会で児童がこの活動のことを全校児童の前で発表した。 ・校内に相手国の児童の自己紹介などを掲示し、紹介した ・卒業式のときに、完成作品やプレゼントを廊下に掲示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新鮮な試みに、皆関心を持って見ていた。 ・先生方からも内容の質問を受けた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	自分の名前や好きなことなどを文章と絵で表し、自己紹介を書いた。	自分のことをロシアの子に伝えようと頑張っていていねいに書いていた。	クラブ
情報収集	9月	ロシアについて家庭で調べた。	ロシアについていろいろと調べてくる子もいた。	クラブ
テーマ検討	9月	教師同士フォーラムを活用して行った。	テーマがお互いの国に伝わる絵と決まり、どんな物語があるか真剣に考えていた。	教科外
制作	10月	グループでそれぞれの物語ごとに別れて絵を描いた。	とても熱心の下絵を考え、着色も、クラブの時間だけでは足りないの、休み時間なども制作に励んでいた。	クラブ
鑑賞	3月	みんなで届いた作品を開封した 作品を校内に掲示した	届いたものを見て、とても興奮した様子だった。	教科外

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	自分の国のことについて物語を通して理解することができた。
異文化の理解	A	4	相手の子どもたちから贈られた自己紹介や壁画を見て、ロシアに興味を持つようになった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	自己紹介や質問などを通じてのコミュニケーションが取れた。日本側からの英語での説明はできなかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	ロシアについて家庭で調べたり、日本の物語を自分たちで調べた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	3	クラブの児童は異学年であるが、皆で協力することができていた。ロシアの子の事も友好的に考えていた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	グループに別れ、絵を描く部分を分担し、皆で協力して描いていた。
学習を追究する意欲	B	3	教師が支持することに、まじめに取り組んではいたが、自らあれもしようと追及するまでにはいかなかった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	4	絵のアイデアを真剣に描いていた。絵も丁寧に描いていた。
作品を鑑賞する力	B	4	できあがった作品を、関心持って鑑賞していた。